

平成 27 年度「市町村におけるがん検診チェックリストの 使用に関する実態調査」結果について

がん検診の精度管理の指標としては、「技術・体制指標」「プロセス指標」「アウトカム指標（死亡率）」がある。チェックリストは「技術・体制指標」として、自治体と検診機関が最低限整備すべき検診体制をまとめたものである。

1 チェックリストの使用に関する実態調査について

- ・市町村におけるチェックリストの使用に関する実態調査は、毎年、国立がん研究センターが都道府県を通じて各市町村に対し行っており、都道府県単位での集計結果が国立がん研究センターの自治体向けホームページで公表されている。
- ・本県では、精度管理向上に資するため、平成 26 年度より市町村単位の調査結果を県ホームページにて公表している。
- ・平成 27 年度分の市町村別調査結果については、平成 28 年 4 月以降にとりまとめ、当部会で掲載方法を検討の上、県ホームページに公表する方針となった（平成 27 年度第 2 回部会検討事項）。

2 平成 27 年度実態調査の変更点

- ・平成 27 年度の調査では、平成 28 年 3 月のチェックリスト改定を見据え、従来のチェックリストに含まれていない内容（個別検診の実施体制、新規項目）についても試験的調査が行われた。
- ・さらに、調査結果をより実態に近付けるため、回答方法が変更となった。

【平成 26 年度まで】

調査内容：・集団検診の実施体制

・従来のチェックリスト項目（約 40 項目）

調査期間：6 月～8 月

回答方法：調査時点で実施見込みであれば○（実施しているとして回答可）

【平成 27 年度】

調査内容：・集団検診と個別検診の実施体制

・従来のチェックリスト項目（約 40 項目）＋新規項目（約 20 項目）

調査期間：6 月～12 月

回答方法：調査時点で実施見込みの内容は△と回答の上、翌年 1 月～2 月の再調査時に最終回答へ更新。

（最終回答期限時点でも△の項目については、△として集計）

3 調査結果

資料 1-2 のとおり

4 公表方法（案）

資料 1-3

- ・県ホームページへの掲載は、従前のチェックリスト項目の結果のみとする。
- ・一覧表と併せて、実施状況が視覚的に分かりやすいよう、棒グラフを掲載する。